

## 令和6年12月 吉野町教育委員会定例会議 会議録

日時 令和6年12月19日(木)

午後2時30分～

場所 町中央公民館4F 教育長室

出席者：

吉野町教育委員会

土居正明(教育長) 松谷圭子(職務代理) 阪口榮治(委員) 六雄 浄(委員)

宮下真由美(委員)

事務局

丸上 晶(教育次長) 紙森智章(生涯学習課) 山本英樹(教育総務課)

### 1. 開会挨拶(土居教育長)

### 2. 審議案件

議第1号 後援名義の申請について…【資料1】により事務局説明

名称 (1) 名称 国際交流&イングリッシュキャンプ

申請者 宮城復興支援センター

センター長 屋敷 里菜

委員：宮城県復興支援センターとイングリッシュキャンプの関連がわかりづらいたが被災地の子供たちは無料。それ以外は有償ということで、結びつきは感じる。青少年育成という機会の一つでも多い方がいい。後援することに違和感はない。

委員：後援を認めると、吉野の子供たちに案内をする役目を負うのか。

教育長：そこまではない。案内チラシに名前が載るという程度。

委員：後援をいただくことは、結構大きな意味があり信用度も上がる。

はっきりと分からないところもあり、少し判断しづらい。

教育長：同種の後援名義申請も今後あろうかと思うが、活動の趣旨としては、問題ないと思う。

その他質疑応答・異議なく、全会一致で承認。

### 3. 報告案件

#### 報第1号 教育総務課事業説明について……事務局説明【資料2】

- ① R7 こども園及び小学校の入園入学児童数について  
→こども園に5名入園、小学校に21名が入学予定。
- ② 通学バスの見直しについて  
→バス通学区域を河原屋以外とする。  
自転車通学の選択も可。バス無償化を検討中
- ③ 部活動地域移行について  
→保護者説明会済。土日の部活動は地域移行していく。  
今年度中に、カヌー部が地域クラブに移行する予定。

委員：バスの件について。自転車通学生のために地元住民などが掃除などしてくれている。通学バスを選択する子が増えると必然的に自転車通学生が減る。例えば、一人だけの自転車通学生のためだけにその道を多くの人が道路整備に携わってくれるのかと、考えてしまう。  
理事会などとも会話が必要では。

教育長：確かに意思疎通が必要。地区とも会話しながら進めたい。

委員：ところで、以前、交通安全母の会あったが、今も活動しているのか。

事務局：毎日ではないが、活動している。

委員：徒歩児童がいなくなれば、母の会の活動もなくなるのか。

事務局：その可能性はある。実際、母の会をなくそうか、という話し合いもあった。この母の会は、警察と総務課が一体で所管している。  
登校の見守りに留まらず、子どもの日常生活の「安全啓発」である。

#### 報第2号 生涯学習課事業説明について……事務局説明

- ① 日本語教室について  
→これは文部科学省の3カ年の受託事業。今年度がラスト。  
全国で受託自治体が5団体あるが、その中で吉野町は最小規模の自治体。注目を集めている。
- ② スマホ依存のオフラインキャンプフォローアップについて  
→オフラインキャンプの最終オリエンテーション(1/26)。  
10月のオフラインキャンプの様子がテレビ放送予定。  
「12/23 NHK おはよう日本 7:00頃」

#### 報第3号 学校園の様子について……事務局説明

- ① 感染症 → 学校園ともに流行なし
- ② 園学校行事 → 諸行事無事終了。福岡県矢部中学校と交流。
- ③ 不登校等について  
→小中ともに不登校児童生徒が一定数いる。個別対応中。

委員：不登校について。オンライン授業とは、皆が受けている授業を見る、  
というもののか。

事務局：オンライン授業は2種類ある。普段の授業を視聴するものとマンツーマンでするのもの。中学校では、後者を行っている。

委員：放課後などに、担任がしているのか。

事務局：通常、教科担当がする。放課後かどうかは、把握していない。

4. その他事項 ①「奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度」申請について  
→よしのこども園が本制度に申請済。  
以前から、本園の自然環境保育は環境 ESD モデル。  
自然保育の活発な園としてすでに認められている。

5. 閉会挨拶（松谷教育長職務代理者）